

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホームえがお

作成日：平成23年3月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	今年の“えがお”の目標である、利用者中心のケアを行う為に、介護の知識の向上と職員の意識統一を図る必要がある。	全職員、介護知識を高め、ケアサービスの質の向上に努める。	①1年間の研修計画を立て、職員研修を行う。 ②外部研修情報を職員に回覧し、希望者を募り、職員参加者かた他の職員に伝達講習を行う。 ③社会労務士による、ビジネスマナー教育を行う。	12ヶ月
2	5	認知症になっても、地域の理解と支えがあれば、生活が出来る街づくりのために、グループホームとして行政や住民にもっと協力できることを考える。	市町村と連携を深め、グループホームとしての地域への役割に努める。	①キャラバンメイト育成の協力をを行い、認知症ケアの啓発を行う。 ②福祉マップ作りの協力 ③徘徊時の対策として、あさぎり町SOSネットワーク登録をお願いする。	随時～12ヶ月
3	33	利用者が高齢になり、疾病も多くなっている。昨年と引き続き看取りに対する研修が必要と考えられる。	看取りの体制づくり。	①看取りについて、勉強会を行う。 ②利用者の疾病や状況について、家族と主治医との連絡情報を図る。	12ヶ月
4	36	本人の希望も大切であるが、その人の尊厳やプライバシーの保護の気づかいを考える。	一人ひとりの尊厳とプライバシー確保を行う。	①トイレの使用時または介助時、様子が見えにくい工夫を行う。 ②利用者の尊厳とプライバシー確保について、勉強会を行う。 ③プライバシー確保について、重要事項説明書の見直しを行う。	随時
5	52	居心地の良い環境を考える。	安全で居心地良く過ごせる空間づくりに努める。	①常に整理整頓に心がけ、気持ちよい生活に努める。	随時

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。